



唾液は、私たちにとって無くてはならないものです。

唾液の特徴	成分：	水分 99 %以上、有機物 0.4 ~ 0.5 %、無機物 0.1 ~ 0.3 % 比重:1.002-1.008
	1日分泌量：	1 ~ 1.5L (個人差大きく、体調による変動も大きい)
	支配神経：	交感神経・副交感神経の二重支配を受けている
唾液の生理作用	消化作用	唾液中のプチアリン(α -アミラーゼ)によるでんぷんの分解
	軟化作用	ムチン(糖蛋白)により食物を軟化し、滑らかにして嚥下しやすくする
	消化粘膜の保護	ムチンは粘稠性が高く、粘膜を保護する
	緩衝作用	ムチンは両性蛋白体で、pHの緩衝作用もある
	咀嚼の補助作用	食物を湿潤させ、噛み砕きやすくする
	溶媒作用	食物中の味質を溶解させる
	味覚	唾液に含まれる亜鉛により味覚が得られる
	清浄作用	食物の細片、上皮細胞、異物などの表面を覆って、細菌の繁殖を防ぎ、口腔内・歯面を清掃する
	水分代謝の調節	脱水時には唾液分泌が抑制される